

科目名	栄養教諭論					開講 キャンパス	神 埼
担当者	福 山 隆 志						
開講年次	2	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	<p>生涯にわたって健康でよりよい生活を送るためには、望ましい食習慣を身につけることが大切である。しかし、児童生徒の食生活の乱れは年々深刻化しており、栄養教諭が栄養に関する専門性を生かし学校や家庭、地域と連携し、児童生徒が望ましい食習慣を身につけることができるよう指導する役割を期待されている。そこで、本講座では栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項として、児童生徒の栄養の指導および管理の意義、その現状と課題について学ぶ。また、児童生徒の食事に関する実態把握や分析について学び、栄養教諭の職務内容や使命、役割などについても学ぶ。さらに学校給食の意義や役割、児童生徒の栄養の指導及び管理に係る社会的事情と法令及び諸制度について詳細を学ぶ。そして、幼児、児童生徒の栄養に係る課題に関する事項を学び、国民の栄養をめぐる諸事情を学ぶ中で、食生活に関する歴史的及び文化的な事項を交え、学校における食を取り巻く背景を理解できるよう教授する。</p>						
授 業 の 到 達 目 標	<p>①知識理解 ・ 栄養教諭が学校における食育を推進するために求められている事例や役割を理解できる。 ・ 学校での取り組みを知り、自分なりに定義して示すことができる。 ・ 児童生徒への指導の取り組みを理解できる。</p> <p>②思考判断 ・ 学校給食と食に関する指導の関わりについて検証することができる。 ・ 教育問題について、課題を指摘し、自分の意見を述べることができる。</p> <p>③関心意欲 ・ 栄養教諭の職務内容への関心と意欲を持つ。 ・ 学校給食がどのように活用されているか関心を持つ。</p> <p>④態度 ・ 教育問題に対して主体的に考える。 ・ 事例を通して、児童生徒の姿を感じ取る。 ・ 問題意識を持って、教材作成に取り組むことができる。</p> <p>⑤技能表現 ・ 授業における適切な言葉使いや板書を工夫することができる。 ・ 小論文により自説を述べるすることができる。 ・ プレゼンテーションの次述を高める工夫ができる。</p>						
学習方法	講義、ディスカッション、グループ学習、発表と提案、ICT教材活用						
テキスト及び参考書等	「栄養教諭論」理論と実際 金田雅代編著 健帛社 / 食に関する指導の手引 / 学習指導要領・解説						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎	◎			60		
小テスト等	○	○			10		
宿題・授業外レポート	○		○		10		
授業態度			○		5		
受講者の発表			○	○	10		
授業への参加度			○		5		
その他							
合計					100		
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画 (学習内容・キーワードとスケジュール)							
第 1 週	栄養教諭の制度と役割						
第 2 週	学校給食の教育的意義と役割、学校組織と栄養教諭の位置づけ						
第 3 週	学校給食の歴史と食生活の変遷						
第 4 週	子どもの発達と食生活						
第 5 週	「食に関する指導」の全体計画						
第 6 週	「食に関する指導」の展開						
第 7 週	給食の時間における食に関する指導						
第 8 週	発達段階に応じた食に関する指導と食生活学習教材						
第 9 週	小学校「家庭科」、中学校「技術・家庭科」における食に関する指導						
第 10 週	「体育科・保健体育科」における食に関する指導						
第 11 週	「道徳・特別活動」における食に関する指導						
第 12 週	「生活科」における食に関する指導						
第 13 週	「総合的な学習の時間」における食に関する指導						
第 14 週	個別栄養相談指導						
第 15 週	家庭・地域との連携						
第 16 週	試験						
備 考	「学校食育指導論」と連携した学習である。						